

【総論】

・NEXCOは真面目に取り組んでいると思うが、社会へのアピールが不足している。現在できていないことも、それなりの背景や理由があることがほとんどなので、そういった背景・理由の部分を含め丁寧に説明していくことが必要。

【民営化以降の取組みについて】

- ・ユーザーの側からすれば、コスト削減などの経営改善の努力は、料金の引下げに反映されなければ実感しづらい。
- ・コスト削減については、単に切りつめているのではなく、より少ないコストで高い成果をあげているという観点が必要。
- ・サービスエリアをはじめとする、サービス向上や多様なサービス提供は実感しており、評価している。

【料金制度について】

- ・利用者負担の原則については、今後とも堅持すべき。

【今後の課題と取組みについて】

- ・NEXCO中日本にとっての最大の課題は笹子トンネル事故の再発防止であるが、日本のインフラ全体の課題は、自然災害と老朽化への対応。
- ・老朽化対策については、点検強化と適切な維持管理により寿命を長くするだけでなく、思い切って「取り替える・更新する」施策への転換が必要。
- ・NEXCOは旧国鉄と違い、幸いにして債務の償還が進んでいるが、少子高齢化が進んでいることや、若者が車に乗らなくなっていることなど、将来の課題は多い。
- ・償還後に高速道路が国管理になっても荒廃しては意味がない。次世代に余計な負担を残さずに適切な維持管理を行っていくための制度上の工夫が必要であり、天下国家の計を考えた今後の方向性を打ち出していくことが必要。